

桜は終わりましたが 芳しい花と庭園の季節です。機会あればぜひ愛でてください。
これから 京都で見聞きしたことを 発信します。お役に立てば幸いです。

【平安京】

陰暦・延暦 13 年 (794) 10 月 22 日、桓武天皇が直前の長岡京より遷都。→ 時代祭の開催日の由縁です。明治 28 年、遷都 1100 年祭の時に平安神宮が創建され、その行事の一環として始められました。明治時代から平安時代へ遡る行列が特徴です。

都の造営の起点 (基準点) は船岡山 (北区)。今では五山送り火の見物場所として有数。

陰陽おんみょう 五行・四神相応の地という思想に基づいているが、これに関しては他の書籍を参考にしてください。最近、陰陽師・安倍晴明が TV や書籍等でもてはやされています。因みに、「青春」とか「くろうと 玄人」という語源は、ここに始まります。

東西の二条通りと、南北の千本通りが区域を分ける最重要の通り。大まかに言いますと、二条より北が内裏だいり (天皇のお住まいと政府機関の集まり) で、それより南が臣下ならびに庶民の居住地区。そして、内裏から南下するのが千本通り。左右両京を分けています。尚、中国の唐の都を参考にしましたので、右京を長安城、左京を洛陽城と呼びました。さらに、千本通りより東 (即ち左京=洛陽城) のみがどんどん繁栄しましたので、洛陽が平安京 (現在の京都) を代表するようになりました。「上洛」「入洛」「洛中洛外」の由縁です。

【桓武天皇】

重要な事項が二つ。

- ① 曾祖父 (ひいおじいちゃん) が天智天皇です。壬申の乱 (672) で息子が負けたので、その後の歴代の天皇は、勝者の天武天皇 (天智天皇の弟) の血統が続ききました。桓武天皇の父 (弘仁天皇) から再び天智天皇の血統に戻りました。約 110 年振りです。取り戻したぞ、という気概は大きかったと思われます。
- ② 母 (高野新笠) が朝鮮百濟王族の血筋です。 → その後、子孫縁者が重用されます。

桓武天皇の陵墓 (お墓) は、伏見桃山城の近隣で、明治天皇陵や乃木神社も近いです。桓武天皇は平安京を開いた方なので、お墓も大きいと想像していたのですが、明治天皇のそれと比較すると格段に小さく、何故? と思いました。管理事務所 (宮内庁) の方に理由を聞いたがどうも曖昧でした。むしろ、通りかかった付近の人の言った『あの人は地元の方でなく、引っ越して来た人だから』との理由の方がすんなりと納得できました。ところで、明治に入り皇室の決まりでは、東京に陵墓を設けることになっていたのですが、明治天皇のたつての願いで (つまり生前に)、京都になったとの由です。面白い。

桓武天皇が曾祖父を敬愛していたことは有名ですが、天智天皇の陵墓は京都市山科区にあり、桓武天皇陵墓のほぼ北の方向 7 km の位置です。桓武天皇が敬愛していたのならそのお墓に向かい、つまり北向きに桓武天皇陵墓があるかと思ったら、南向きでした。これも宮内庁事務所に聞いたところ、天皇は「天子は南面す」の謂われ通り、南を向いてまったりごと

政まつりごと を行うのでお墓も南向きです、と説明されました。私は北向きであって欲しかったのですが、一部の陵墓では北向きも東向きも見られるとのこと。誰ですかね。

陵墓を見るのは無料です。遠くから鳥居越しに眺めるだけですが、そういえば鳥居の数も明治天皇陵は 3 基、桓武天皇のそれは 1 基だけでした。付近の方が何かにつけて「小さい」と表現するので、地縁とはおそろしいものだと感じた次第です。

【その他のニュース】

〔500円市バス専用カード〕

観光でいらした時にはお得です。市バス限定の1日だけ通用するカードですが、何回乗ってもOKです。市バス料金は1回220円ですので、往復するだけで440円。従って3回以上乗るのなら絶対お得です。駅とかたばこ屋さんとか、至る所で入手可能です。

〔京都の催しを紹介したホームページ〕

たくさんありますが、京都市が発信している下記のHPがコンパクトです。

京都市情報館 <http://www.city.kyoto.jp/>

それ以外でしたら、駅の観光案内所は当然ですが、役所や公共施設、京都新聞がお勧め。これでもかというくらいにパンフが揃っています。私などは、日程に余裕がある時には、行き先の〇〇市観光課御中名で、80円切手を同封して「観光用パンフ希望」と送ります。例外なく80円以上のぶ厚さで、パンフレットが後日届きます。どこの市町村でも大歓迎してくれます。但し、京都はボリュームの想像がつかみませんので、テーマとか地域とか、あるいは訪れる寺社とかを限定しないと駄目でしょうね。送るほうが困るでしょうから。この作戦は、やはり地方の市町村向きでしたね、失礼しました。

事前にじっくりと、歴史や人物を少し勉強してからという方には、下記の書籍がお勧め。

『京都辞典』 ¥2,900.- 東京堂出版 編集：村井康彦

また、仏像とか神社仏閣、あるいは庭園を見て回る際に携行したい書籍ですが、私はかなり以前に購入したので、今なら¥2,000. 程度するかも知れません。

『歴史散歩辞典』 山川出版社 監修：井上光貞

〔大学グッズ ～新たな京都のお土産に・・・～〕

京都新聞の5月16日号にも記事が紹介されております。ヤフーにて「大学グッズ」で索引したら127件紹介され、その筆頭は京都の各大学についてのニュースでした。

新聞記事によりますと、下記のような要旨でした。

- 1) 在校生の購入以外に、OBとか学外向けのPRに一役買っている。
- 2) 合格のお祝い返しに購入するケースがある。
- 3) 京大は、シンボルの時計台前のクスノキを描いた「かわらせんべい」。

龍谷大は、オリジナル吟醸酒『龍』。滋賀県マキノ町の酒造会社と提携して通販も。我が母校同志社は、国の重要文化財に指定されているクラーク記念館を絵柄にした「かわらせんべい」。18枚入り600円で、私も早速購入しました。かわらせんべいでは有名な、神戸元町の亀井堂總本店が製造元でもあり、大変おいしいです。

今回は京都だけの紹介ですが、皆様の母校や地元大学も一度ご覧になってください。

〔お店紹介〕 ご紹介したいような、そうでもないような気持ちです。

- 1) コーヒーきのした 中京区麩屋町通り錦上がる

店のお母さんが、必ず熱心に豆と味の説明をします。

私もフレッシュ無しで飲めますので、まるやかな味です。

錦市場も近いのでお買い物にも便利です。

- 2) ノスタルジック・カフェ 中京区麩屋町通り錦上がる（または蛸薬師下がる）

上記「きのした」のすぐ近くです。骨董品を陳列して、カワイイ。女性向ですね。

〔お店紹介〕 続き

3) 長者庵孫助 中京区衣棚通り六角上がる (または三条下がる)

焼酎党にはたまらない。見たことも聞いたことも無い一升瓶がズラリ200種。
オーナーの本村哲朗さんとは顔見知りになりました。蒔蓄を聞くのも面白い。
店に辿り着くまでのシチュエーションも良い。道が分かりづらいので、隠れ家的な味わいです。今人気の町屋造りで、私の今一番のお気に入りです。和風味付けの料理も美味しいですよ。ねぎみそ、カマンベールと奈良漬、和風焼きそばはお勧め。

元アルバイトで働いていた女性が、木屋町三条近くで「^{きよきよばくばく}清 清 麦 麦」という店をやっています。店の屋号はオーナーの命名。詳しくはオーナーに聞いてください。

4) イゾルデ (I s o l d e) 中京区高倉通り三条東入る石見ビル3F

クラシックを聞きながら、ワインと料理と、そしておしゃべりを愉しむ店。

マスターの^{きんしよく}錦 職 さん (本当に珍しい名前です) はワーグナーのオペラにはまり毎年ドイツのワーグナー音楽祭に通っています。その話をしたら止まらない。ワーグナーの分からん奴は店に来なくてもいいと言ってますが、奥さんがうまくとりなしてくれます。結局は気さくな店ですよ。私は、大学時代の友人が気になる店があるので一度調べて見てくれというので、一見さんで飛び込みました。友人はイゾルデの名前でワーグナーを連想するほどに知ってますが、私は学校で習った程度。仕方がないので、やれ歌舞伎に通じるところがあるとか、友人の存在を持ち出して、マスターがどうにか認めてくれたような感じです。友人には早速連絡しました。

通り過ぎるような小さなビルなので、注意してください。長者庵孫助も近くです。それと、飲み代としては、ワインは上物なのに、マスターの心意気で廉価です。

〔お庭の紹介〕

1) ^{むりんあん}無 鄰 庵 左京区南禅寺草川31 入場料350円 (抹茶付だと650円)

平安神宮や南禅寺にもほど近い。京都市動物園の仁王門通りを挟んで真南です。明治の元勳・山縣有朋の別荘です。明治36年(1903)には、伊東博文、桂太郎、小村寿太郎らと日露戦争開戦直前の重要会議をしたところですよ。

こぶりな回遊式庭園ですが、それだけにかわいい感じです。観光客がぞろぞろ来る所ではないので、抹茶(真盛豆というお菓子付き)をいただき、母屋からあるいは縁側に腰掛けて眺めるのは気分がいいです。彼氏・彼女と訪れてみては。つい先日も眺めていましたが、強めの雨が借景の東山をけぼらせて(煙らせて)、なかなか乙でした。また、居着いたのでしょうか、^{つがい}番 のカモが佇んでまして、あるいは水蘚を食んでまして、ちょっと綺麗なシーンでした。

今回の発信は超大作(3ページ)でした。参考になれば、ご活用ください。

また、ご不要であれば、その旨お知らせいただければ幸いです。目下は一方的ですので、月1回程度発信予定ですが、京都についてご希望があれば、おっしゃってください。

5月はこちのよい季節です。ゴールデン・ウィークで皆様もお楽しみかと存じます。そのような便りをいただければ、ありがたく存じます。

5月13日は母の日ですね。プレゼントは決めましたか。